

株式会社 GSIクレオス

2024年3月期 第2四半期

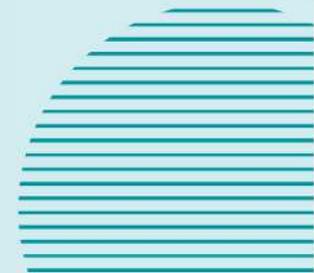
決算説明会

2023年12月7日



- 2024年3月期 第2四半期決算概要 3
- 2024年3月期 業績予想 13
- 中期経営計画の進捗状況 18
- 株主還元 32
- 参考資料 36

2024年3月期 第2四半期決算概要



業績サマリー

Point

緩やかな景気回復基調にある中、前年同期を超える売上・利益を計上し、第2四半期純利益では過去最高を更新。

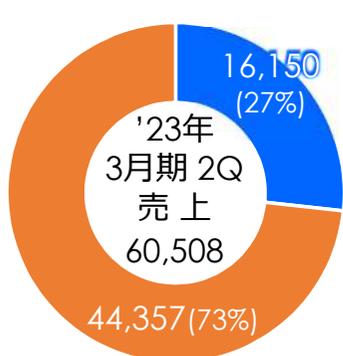
- ・繊維事業：前年同期比で増収増益。機能糸や生地が取引が順調に推移し、インナー関連は原材料価格高騰や為替変動への対応が進む。
- ・工業製品事業：前年同期比で増収減益。ケミカル関連が堅調に推移するも、対中国の半導体規制によりセミコンダクター関連が減速。

経営成績（百万円）	'23年3月期 2Q	'24年3月期 2Q	前年同期比 （金額）	前年同期比 （%）
売上高	60,508	70,850	<u>10,342</u>	<u>17.1</u>
売上総利益	6,868	8,271	<u>1,403</u>	<u>20.4</u>
販売費及び一般管理費	5,745	6,549	804	14.0
営業利益	1,123	1,722	<u>599</u>	<u>53.4</u>
営業利益率（%）	1.9	2.4	0.6pt	—
経常利益	1,281	1,802	<u>520</u>	<u>40.6</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	909	1,297	<u>388</u>	<u>42.7</u>

事業別業績（前年同期比）

事業別売上高

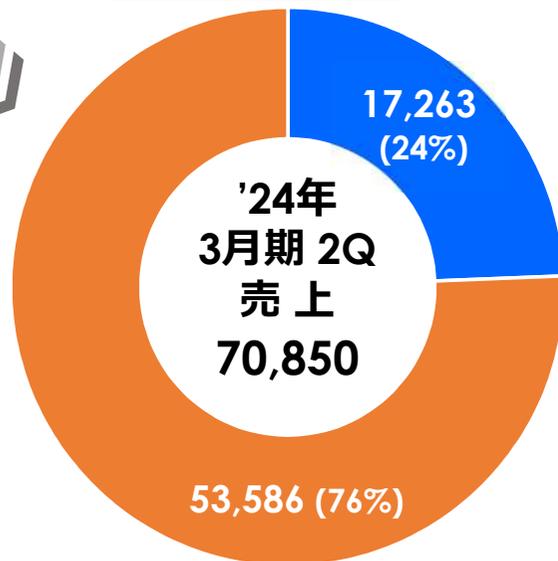
'23年3月期 2Q



- 工業製品事業
- 繊維事業

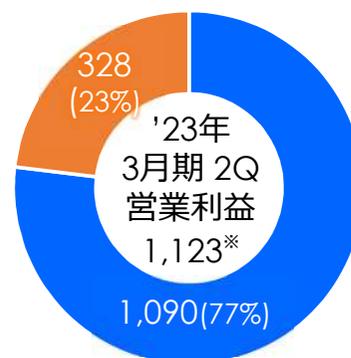
(単位：百万円)

'24年3月期 2Q



事業別営業利益

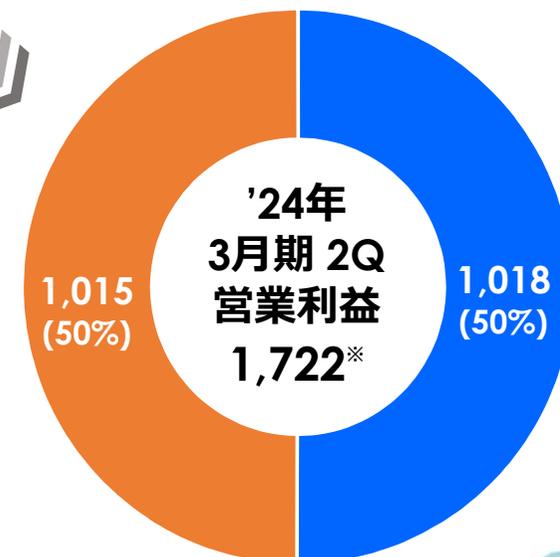
'23年3月期 2Q



- 工業製品事業
- 繊維事業

(単位：百万円)

'24年3月期 2Q



※ 調整額控除後の金額

セグメント別業績（前年同期比） 売上高

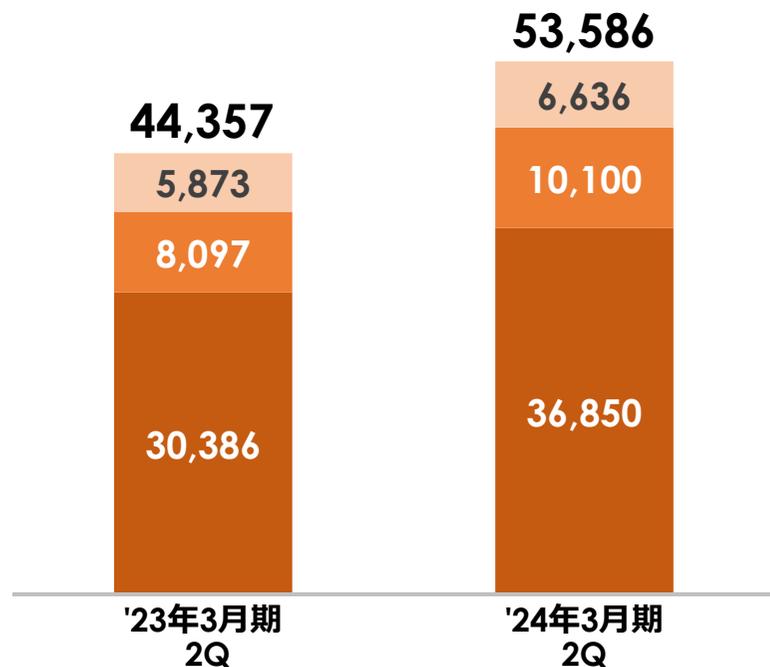
全社売上高

'23年3月期 2Q **60,508**百万円 → '24年3月期 2Q **70,850**百万円

繊維事業

(百万円)

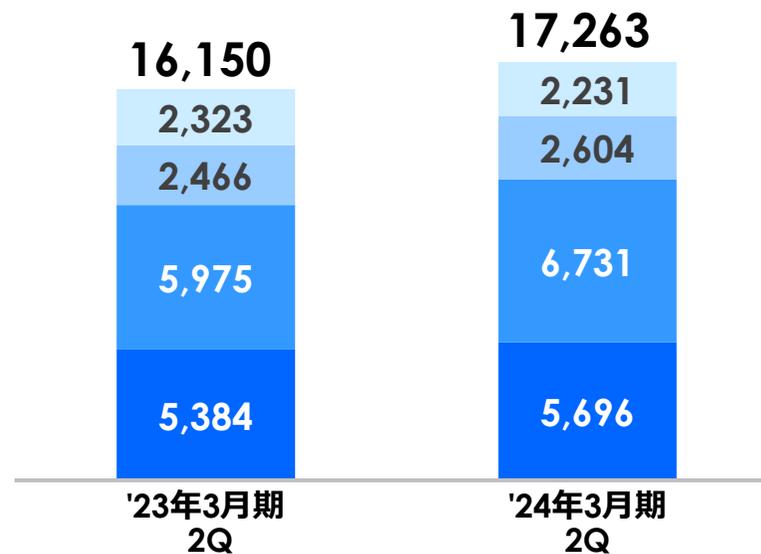
ファイバー アウター インナー



工業製品事業

(百万円)

半導体 ケミカル
ホビー&ライフ マシナリー&イクイップメント



セグメント別業績（前年同期比） 営業利益

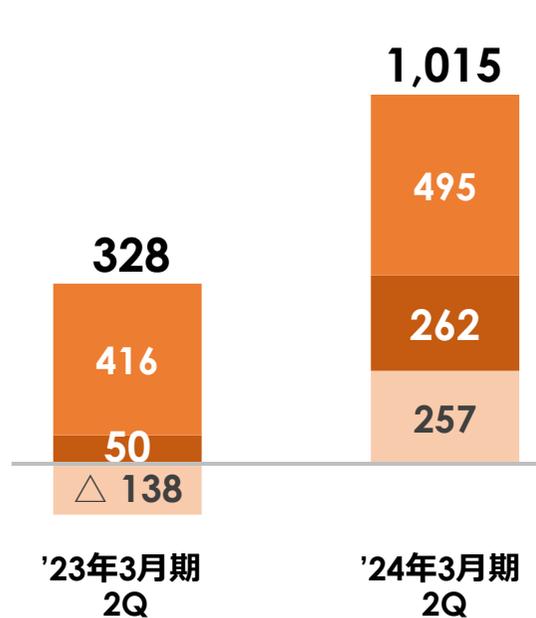
全社営業利益

'23年3月期 2Q **1,123**百万円 → '24年3月期 2Q **1,722**百万円

繊維事業

(百万円)

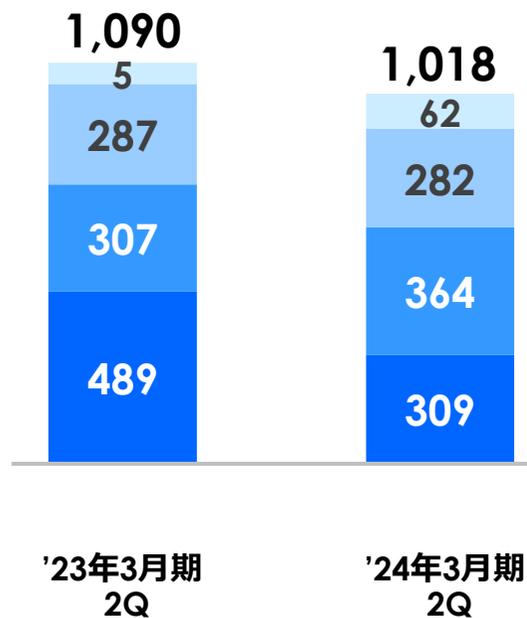
■ インナー ■ ファイバー ■ アウター



工業製品事業

(百万円)

■ セミコンダクター ■ ケミカル ■ ホビー&ライフ ■ マシナリー&イクイップメント

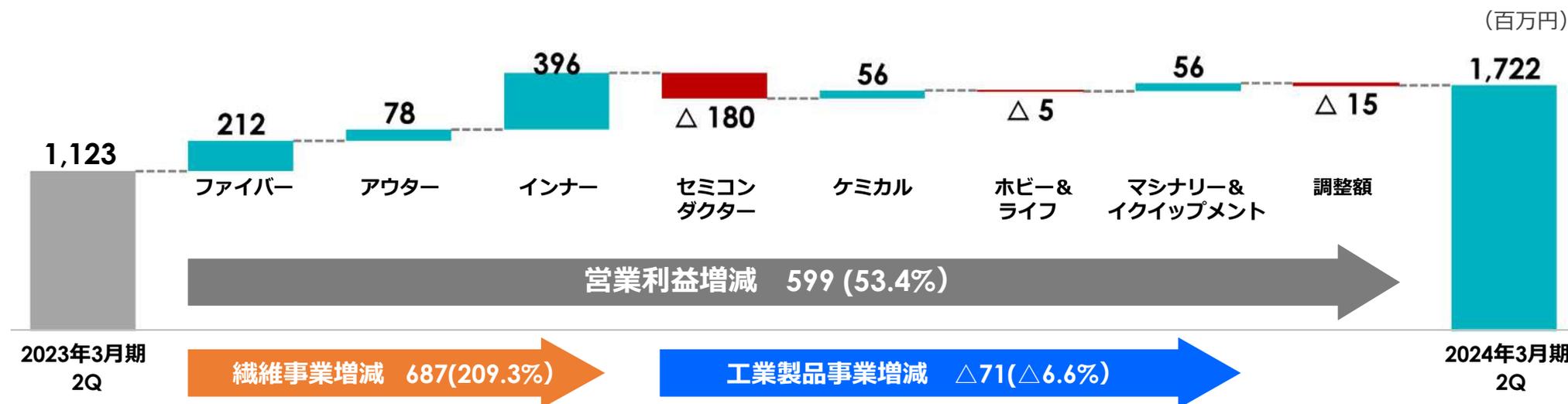


調整額

(百万円)



セグメント別業績（前年同期比） 営業利益増減要因



セグメント別 状況

繊維事業	
ファイバー	個人消費の回復によりインナー用機能糸・生地が取引が順調に推移し、レグ用糸の取引が伸長。
アウター	婦人アパレル子会社が苦戦するも、アパレル製品のOEM・ODM取引や欧米向け生地の出取引が堅調な需要を背景に増加。
インナー	個人消費が回復するなか原材料価格の高騰や為替変動による価格転嫁も進み、前年同期比で大きく増益。

工業製品事業	
セミコンダクター	製造装置用部材原料などの需要は継続するも、米国の対中国半導体輸出規制の影響により中国の販売子会社の取引が減少。
ケミカル	機能性樹脂・フィルム取引は国内需要が堅調に推移し、塗料原料の取引は海外での販売が伸長。
ホビー&ライフ	ホビー関連商材の取引は国内外で堅調に推移するも、化粧品原料の取引が需要の停滞により低調に推移。
マシナリー&イクイップメント	大型機械装置販売および関連技術サービスが利益貢献。

海外売上高

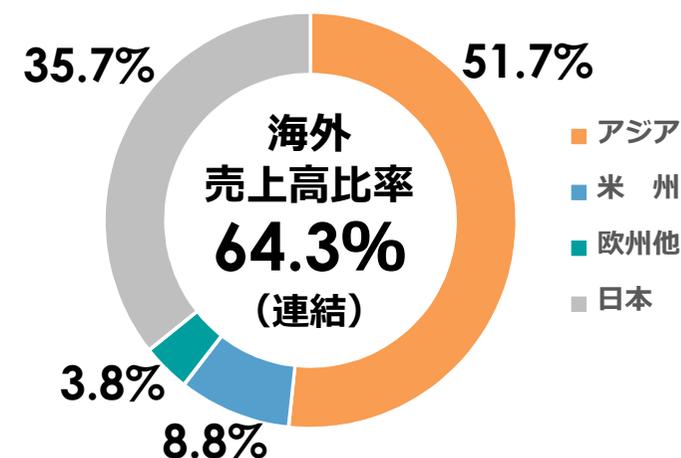
Point

各地域の売上高が前年同期比で増加。
⇒海外売上高比率は高水準を維持。

(百万円)

地域	'23年3月期 2Q		'24年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (pt)
アジア	29,873	49.4%	36,649	51.7%	6,776	2.4pt
米州	5,114	8.5%	6,218	8.8%	1,104	0.3pt
欧州他	2,412	4.0%	2,669	3.8%	256	△0.2pt
海外売上高	37,400	61.8%	45,537	64.3%	8,137	2.5pt

'24年3月期 2Q 地域別売上高構成比



アジア：主に中国、香港 **米州**：主にアメリカ、ブラジル

連結貸借対照表

Point

【総資産】 棚卸資産の増加などにより**増加**。

【負債】 借入金の減少などにより**減少**。

【純資産】 四半期純利益による株主資本や為替換算調整勘定の増加などにより**増加**。

経営成績 (百万円)	前期末 (2023年3月末)	'24年3月期 2Q末 (2023年9月末)	前期末比
総資産	69,412	70,517	1,105
負債	43,482	43,450	△32
(ネット有利子負債)	6,283	2,958	△3,324
純資産	25,929	27,066	1,137
自己資本	25,929	27,066	1,137
自己資本比率	37.4%	38.4%	1.0pt

キャッシュ・フローの状況

Point

【営業活動によるCF】 売上債権の減少などにより**4,296百万円の増加**。

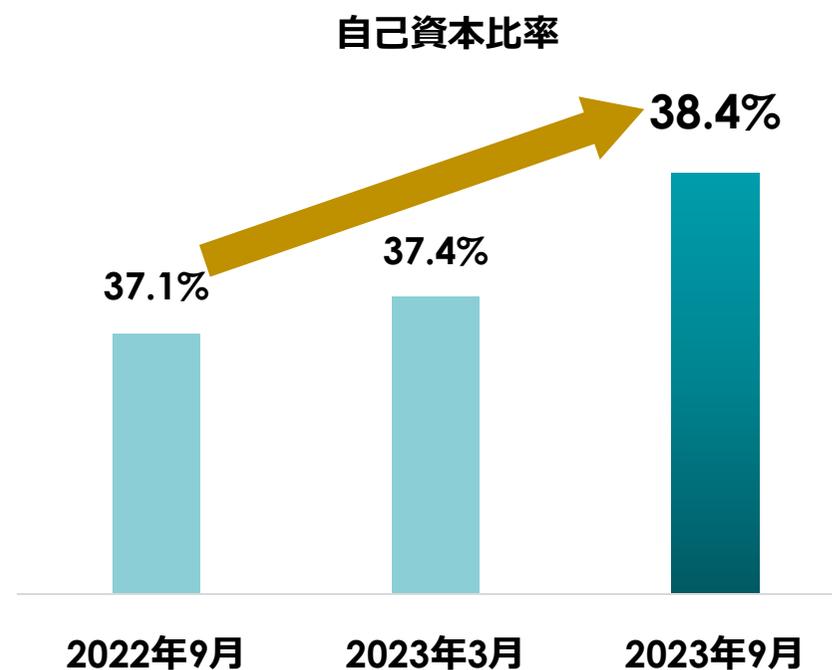
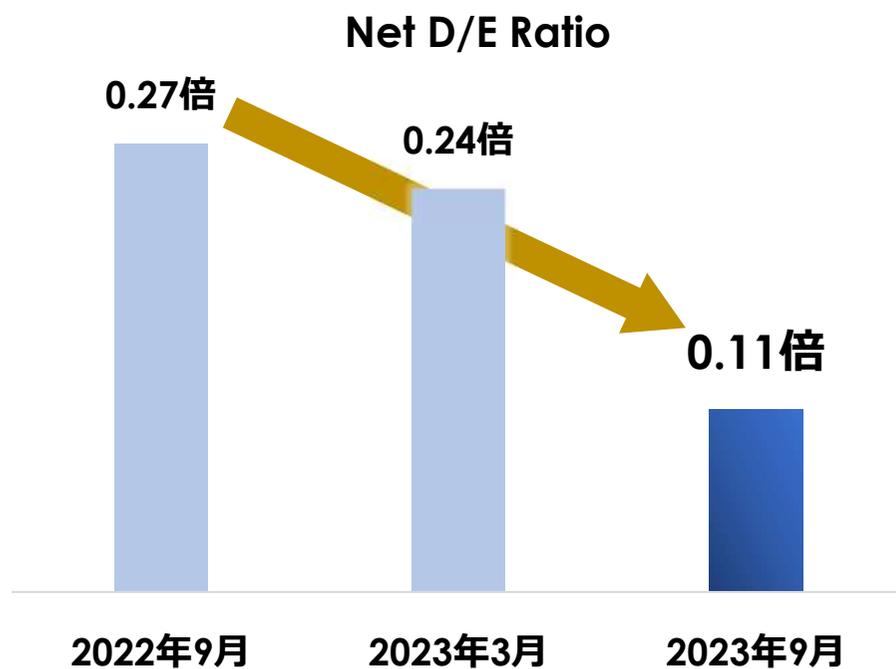
【投資活動によるCF】 投資有価証券の取得（数社への出資等）による支出などにより**46百万円の減少**。

【財務活動によるCF】 借入金の返済による支出などにより**4,132百万円の減少**。

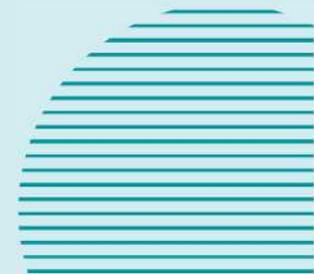
経営成績 (百万円)	'23年3月期 2Q	'24年3月期 2Q	前年同期比
営業活動によるCF	△1,364	4,296	5,661
投資活動によるCF	266	△46	△313
(フリー・キャッシュ・フロー)	△1,097	4,250	5,348
財務活動によるCF	1,266	△4,132	△5,399
換算差額	160	111	△49
現金・現金同等物の増減額	329	229	△100

財務戦略

- ・ 有利子負債の削減による財務体質の改善
- ・ 収益力の向上に加え、政策保有株式等の適正化による資本効率の強化



2024年3月期 業績予想



事業に影響する外部環境要因

対応策

世界経済構造 の変化

- 地政学リスクの増大
- 原材料や資源価格の高騰

- 国内外グループ拠点の連携強化による柔軟な対応
- 適正利益の確保に向けた価格転嫁の実施
- 為替リスクヘッジの徹底

価値観や消費 行動の多様化

- テクノロジーの進化が及ぼす事業の变革
- 複雑化する消費者意識
- サステナビリティの重要性の高まり

- ヒトの力とデジタルの融合によるDXの推進
- サステナブルに適う新規商材の展開
- ESG経営の推進と非財務情報の開示の充実

2024年3月期 業績予想①

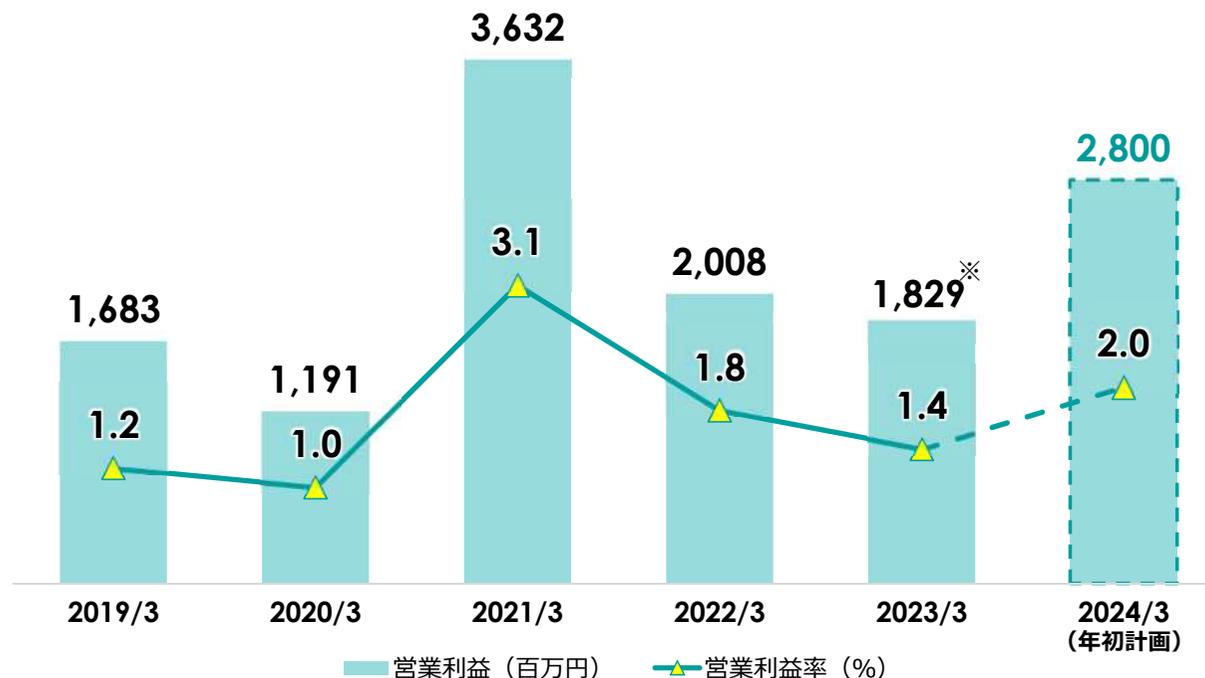
Point

期初（2023年5月15日）公表の業績予想

(百万円)

項目	'24年3月期 年初計画
売上高	137,000
営業利益	<u>2,800</u>
経常利益	2,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	<u>1,950</u>

営業利益および営業利益率の推移



※一過性要因による貸倒に関する費用を除くと約2,300百万円

2024年3月期 業績予想②

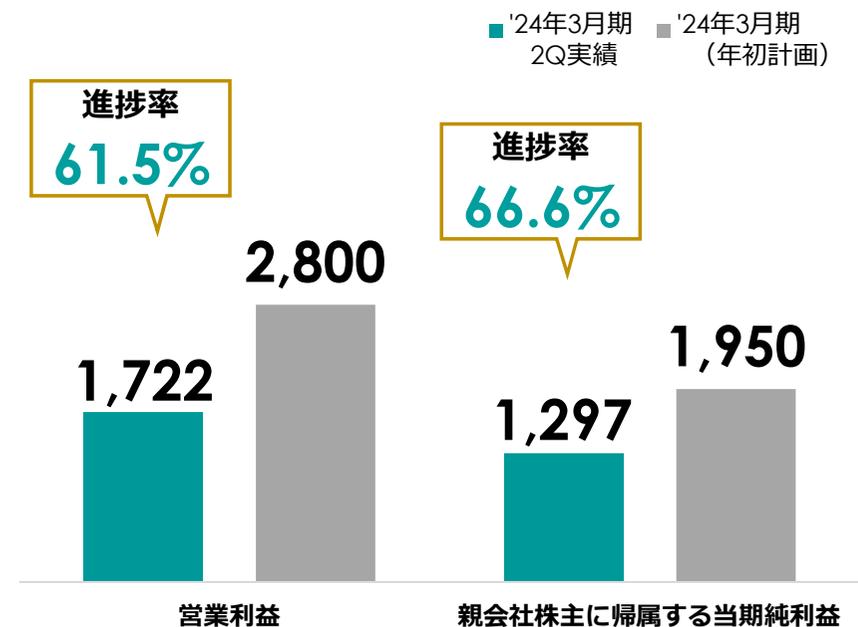
Point

期初公表の業績予想に対し、各利益が標準進捗率を上回り、第2四半期当期純利益は過去最高を更新。地政学的リスクの高まりや世界経済の減速懸念等による先行き不透明感から、業績予想は据え置き。

(百万円)

項目	'24年3月期 年初計画	'24年3月期 2Q実績	進捗率 (標準：50%)
売上高	137,000	70,850	51.7
営業利益	2,800	1,722	61.5
経常利益	2,800	1,802	64.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,950	1,297	66.6

営業利益および当期純利益の進捗状況 (百万円)



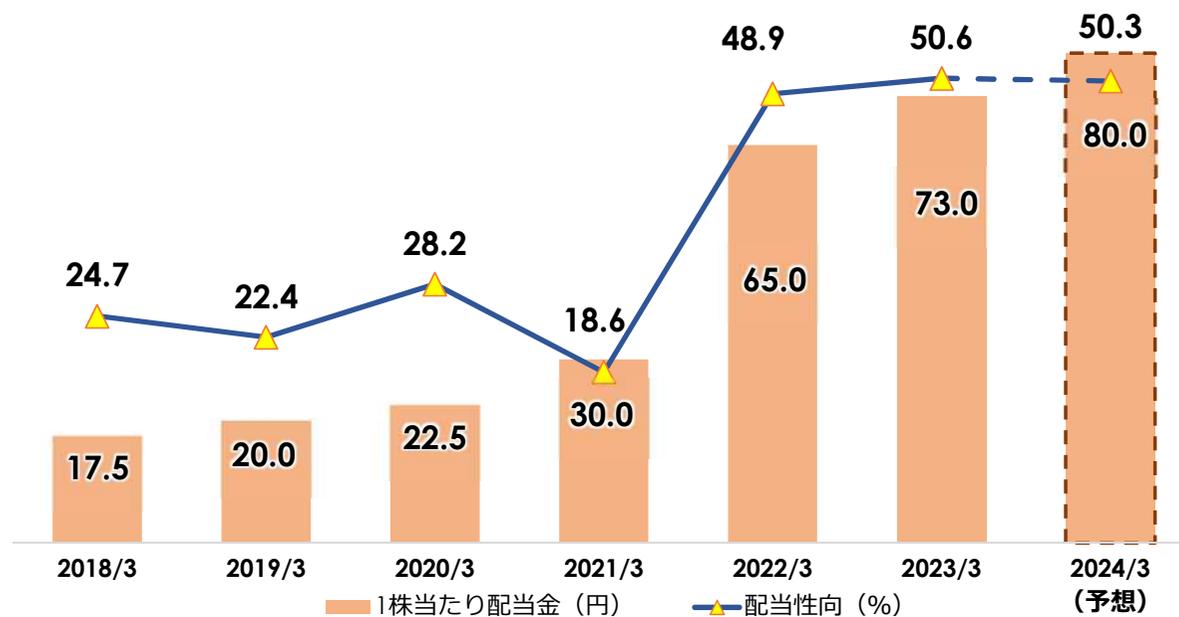
2024年3月期 業績予想③

Point

期末配当金：期初（2023年5月15日）公表予想
⇒ 8期連続の増配を予想

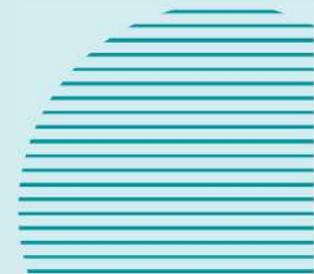
項目	'24年3月期 予想
1株当たり配当金	80.0円
配当性向	50.3%

1株当たり配当金および配当性向の推移



※2021年4月1日に株式分割（1株⇒2株）を実施。2018年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算出。

中期経営計画の進捗状況



次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する

パーパス
(2022年)

コーポレートメッセージ
Produce the Future
次代をつくる

グループスローガン
Weave a New Story
つむぐ・つなぐ・つなげる

存在理念(2001年)

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。**次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサー**として、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、G S I クレオスと価値を共創する**すべての当事者の幸せを実現します。**

存在理念

経営理念

行動理念

ビジョン

事業創造型商社として
ニッチな分野で新しい価値を提供し、
サステナブルな社会づくりに貢献する

2つの挑戦

- ▶ 過去最高純利益の更新
- ▶ 資本市場からの
信頼度のさらなる向上

3つの重点施策

- ▶ サステナブル事業分野への
積極投資
- ▶ 人材の充実と
新しい働き方の推進
- ▶ 実効性の高い
ガバナンス体制の強化

株主還元

“GSI CONNECT 2024” ～つむぐ・つなぐ・つなげる～

新たなストーリーをつむぐために、繊維と工業製品のConnect、グループ各社のConnect、ビジネスパートナーとのConnect、地域・社会とのConnectにより当社グループの強みを発揮しながら、3年間で当社グループをさらに進化・成長させて、新たなステージへConnectする。

中期経営計画 “GSI CONNECT 2024” 業績目標

経営成績 (百万円)	'24年3月期 年初計画	'24年3月期 2Q	進捗率	2025年3月期 目標
売上高	137,000	70,850	51.7%	135,000
繊維事業	102,000	53,586	52.5%	95,000
工業製品事業	35,000	17,263	49.3%	40,000
営業利益	2,800	1,722	61.5%	3,500
経常利益	2,800	1,802	64.4%	3,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,950	1,297	66.6%	2,200

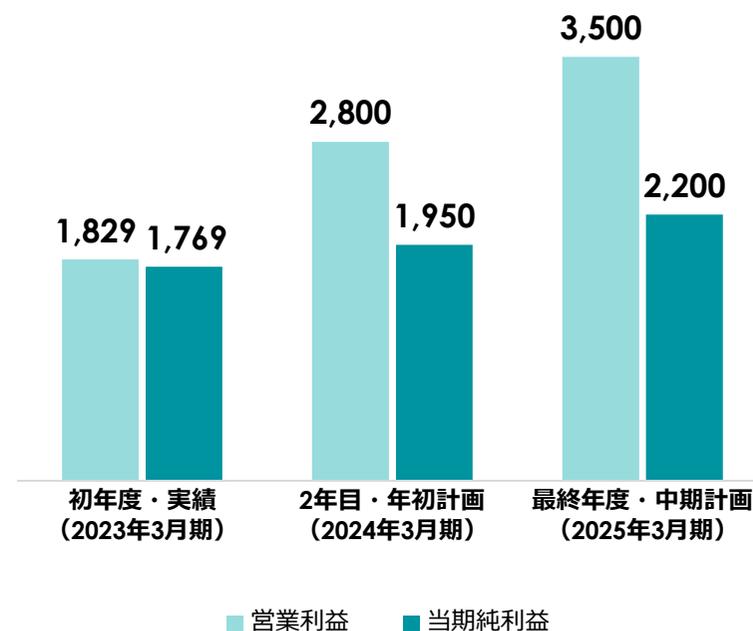
中期経営計画 “GSI CONNECT 2024”の推移

Point

- ・2023年3月期、一過性の要因による貸倒に関する費用の計上はあったものの、本要因を除く営業利益は約2,300百万円となり、事業計画は順調に推移。
- ・中期経営計画（2021年11月21日公表）の着実な実行により、計画最終年度の目標数値の達成を目指す。

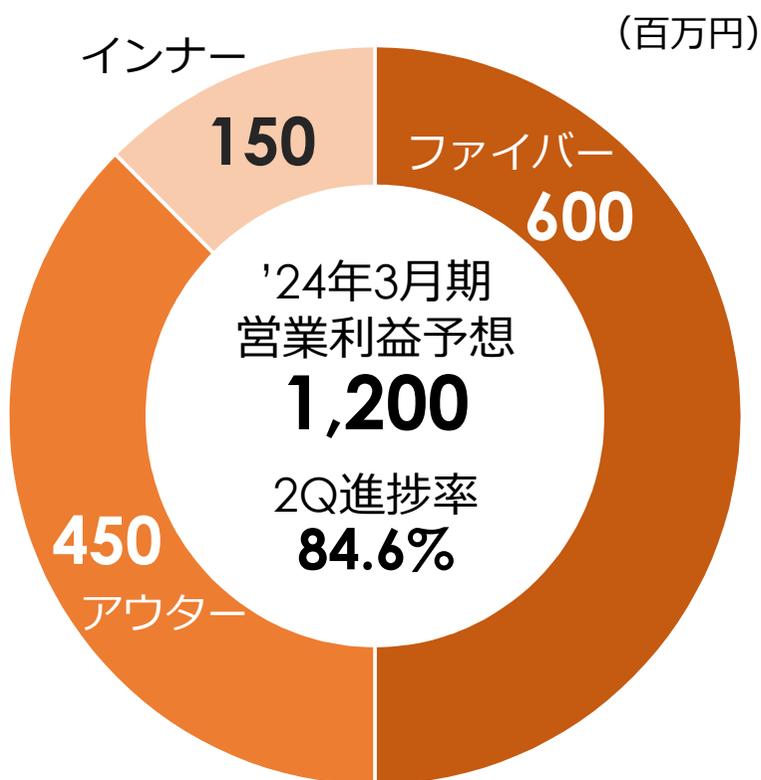
科目（百万円）	初年度 （2023年3月期） 実績	2年目・業績予想 （2024年3月期）		最終年度・中期計画 （2025年3月期）
		年初計画	前期実績比	
売上高	131,054	137,000	104.5%	135,000
繊維事業	98,767	102,000	103.3%	95,000
工業製品事業	32,286	35,000	108.4%	40,000
営業利益	<u>1,829</u>	<u>2,800</u>	153.1%	<u>3,500</u>
経常利益	1,787	2,800	156.7%	3,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,769</u>	<u>1,950</u>	110.2%	<u>2,200</u>

中期経営計画の推移
（営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益）

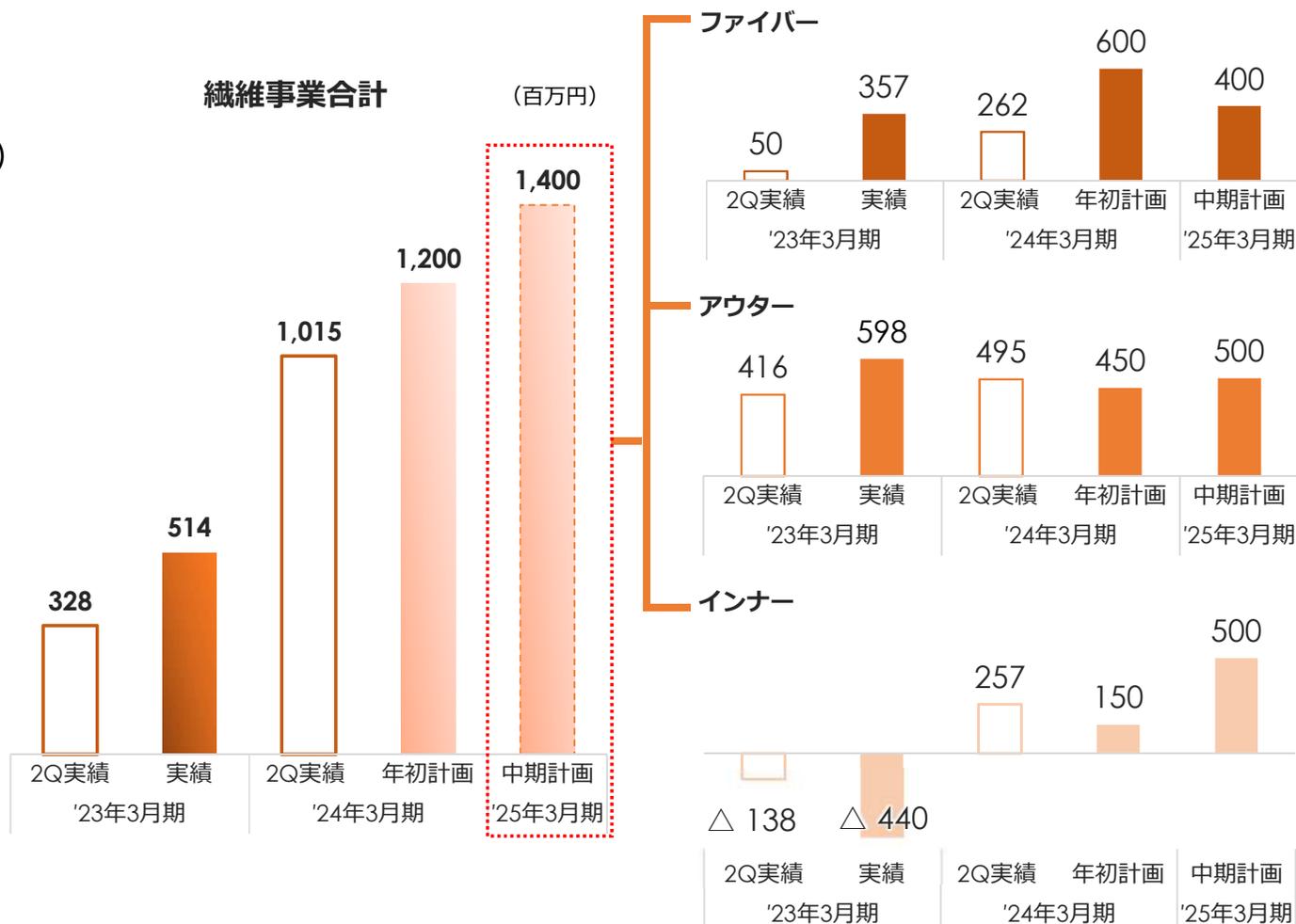


中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

繊維事業



繊維事業合計



ファイバー

事業内容

- 原糸、繊維原料の国内外販売
- 原糸、繊維原料の輸出入
- メディカル繊維原料・製品の製造加工、販売

今後に向けた取組み

- 素材加工力を活かした独自性・機能性の高い商材の展開
- メディカル繊維原料・製品開発に注力

アウター

事業内容

- アパレル製品のOEM、ODM
- テキスタイル・アパレル製品の卸売り、輸出入
- 自社ブランド製品の販売

今後に向けた取組み

- 海外アパレル向け生地への拡販
- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大
- EC事業への積極的展開

インナー

事業内容

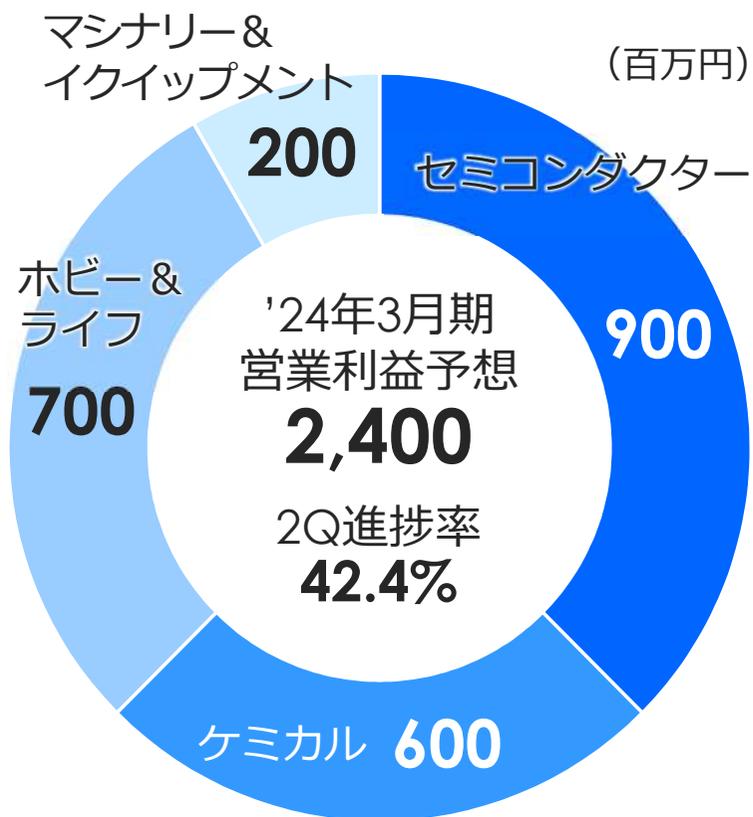
- インナー製品のOEM、ODM、販売、輸出入
- インナー用生地の開発、販売
- 自社ブランド製品の販売

今後に向けた取組み

- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大
- 海外展開への計画的な取り組み
- 為替ヘッジや価格交渉の強化により適正価格の実現

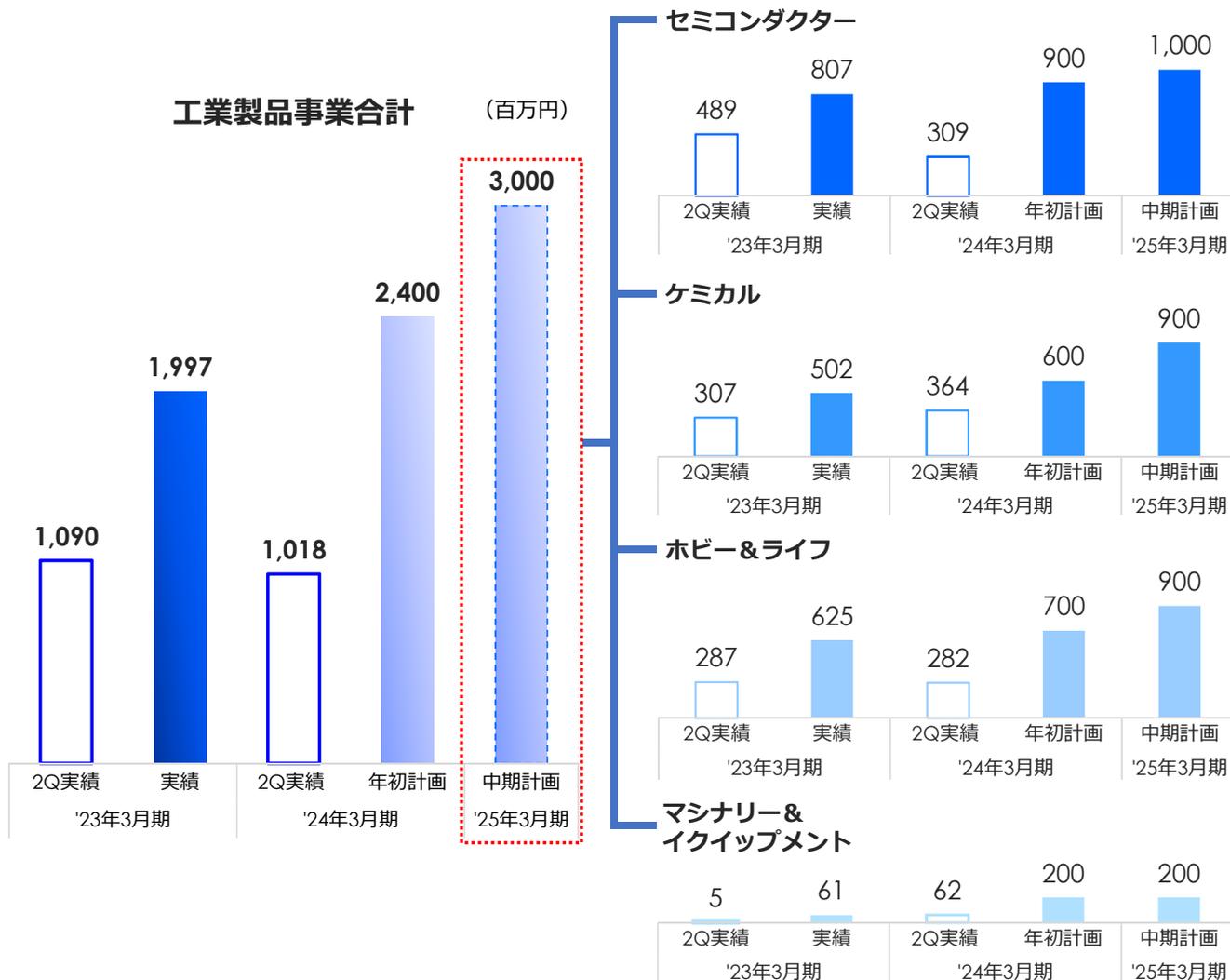
中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

工業製品事業



工業製品事業合計

(百万円)



セグメント別 事業戦略（工業製品事業）

セミコンダクター

事業内容

- 最先端半導体製造装置用部材の輸出入
- 汎用性半導体部材の輸出入
- 半導体製造設備用の部材の輸出入

今後に向けた取組み

- 供給・販売ルート of 拡充
- 日本製半導体関連商材の海外拡販
- 海外製半導体関連商材の日本市場拡販

ケミカル

事業内容

- 塗料原料、その他化学品の輸出入
- 機能性プラスチック樹脂の輸入
- フィルムの国内販売
- カーボンナノチューブの開発・製造・販売

今後に向けた取組み

- グループ連携による塗料原料の拡販
- 機能性樹脂・フィルムの拡販
- 有機・無機半導体関連商材の拡販

ホビー&ライフ

事業内容

- ホビー関連商材の国内・海外販売
- 化粧品原料の輸入
- 化粧品原料の国内販売
- 健康食品の国内販売

今後に向けた取組み

- 新製品の投入による国内販売の更なる強化
- 自社ブランド品（模型塗料など）の海外販売の強化
- グループ連携による化粧品原料の国内外での販売

マシナリー&イクイップメント

事業内容

- 産業機械・理化学機器の輸入販売
- 産業機械・理化学機器のメンテナンス
- 複合材成形設備・材料の輸入販売
- 炭素繊維強化樹脂の開発・製造・販売

今後に向けた取組み

- 大手メーカーとの連携により、複合材料成形設備・部材や塗料装置の拡販
- 炭素繊維強化樹脂（FRP）の用途拡大
- 理化学機器の拡販、メンテナンスに注力

成長ドライバー：工業製品事業

基幹事業：繊維事業

E S

1. サステナブル事業分野への積極投資

- **環境** : 生分解性樹脂事業
サステナブル繊維原料・製品事業
ナノテクノロジー事業
- **生活・健康**: ホビー関連事業
メディカル関連事業
- **エネルギー**: 軽量化事業（自動車、社会インフラ）
半導体関連事業
有機半導体事業（CO₂排出量低減）

S 2. 人材の充実と新しい働き方の推進

- 多様な人材が活躍する環境の整備
- 人材育成強化のための研修制度の充実化
- ITを活用した業務オペレーションの効率化

G 3. 実効性の高いガバナンス体制の強化 (プライム市場に求められるガバナンスの実践)

- 監督と執行の分離体制の促進
- 指名・報酬に関する公正な審議体制の構築、運営
- ステークホルダー向け情報の充実

1. サステナブル事業分野への積極投資 事例①

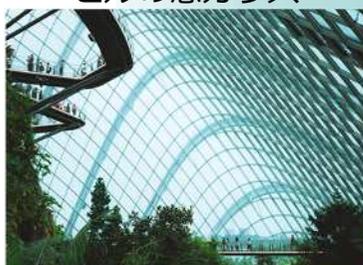
有機薄膜太陽電池(OPV[※])事業の展開



※ Organic Photovoltaic



ビルの窓ガラス



大規模屋内施設の屋根

共同開発

GSI Creos

Brilliant Matters

INOEL
有機エレクトロニクスイノベーションセンター

山形大学
Yamagata University



農業用ビニールハウス



カーポート屋根

OPVの設置可能面積は450平方km以上
(国内のみ、東京ドーム約1万個分!)

薄い、軽い、曲がる、半透明のOPVを
あらゆる場所へ!

当社は、出資先であるカナダのディープレック企業 Brilliant Matters社製造の半導体高分子のインク化に成功、OPV活性層向けにサンプル供給を開始した。

OPVはフィルム状で超軽量、曲げられ、半透明のため意匠性に優れ、あらゆる工程で毒性がなく、環境負荷も極めて少ない有機太陽電池。また、シリコン型太陽電池のような立地制約や重量制限が無く、ビル壁面、窓、カーポート等どこにでも設置することが可能で、太陽光発電面積を増やす切り札とされ、欧米市場では既に実証、実装が進む。

今後市場ニーズを捉えながら、OPVの実証試験を開始する。

資料提供 Brilliant Matters

1. サステナブル事業分野への積極投資 事例②

CNT[※]を軸に革新的多機能材料創製への事業展開

当社は国立研究開発法人海洋研究開発機構、一般財団法人高度情報科学技術研究機構とともに、環境負荷の軽減に向けてあらゆる産業に関わる「エネルギー効率の向上」や「省エネルギー」を実現する「グリーン・トライボロジー」についての共同研究開発事業を開始した。当該研究提案は防衛装備庁「令和5年度安全保障技術研究推進制度」大規模研究課題（タイプS）として採択された。



※ Carbon Nanotube



あらゆる駆動装置の省エネルギーの実現により、環境負荷の低減に貢献

2.人材の充実と新しい働き方の推進 事例③



株式会社カルチャリアとの業務提携関係を強化

当社グループの人材戦略

中期経営計画の重点施策として、「人材の充実」と「新しい働き方の推進」を掲げ、多様性の深化による競争力の強化を目指す。



株式会社カルチャリア

「従業員エンゲージメント（社員幸福度）」の概念を採り入れた組織・人事コンサルティング企業。グローバル人材育成や異文化教育にも定評があり、大手企業をはじめとして多数の実績を有する。

3.実効性の高いガバナンス体制の強化 事例④



ステークホルダー向け情報開示の充実

当社は、持続的な成長のみならず、プライム上場企業に合う信頼性や経営の透明性の更なる向上に向け、当社グループの取り組みをより理解いただけるよう、適切な情報を適時に開示する。

また、ステークホルダーの皆さまの意見を適切に経営に反映できるよう、建設的な対話を充実させていく。

情報開示の形式と対話の方針

情報開示：年2回（中間期および期末）の決算説明会を実施し、事業計画に対する進捗状況を説明。

対話方針：開示内容にもとづき、社長執行役員による個別面談を積極的に実施。

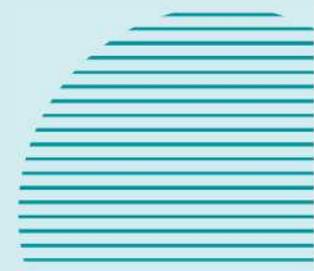
対話の内容を参考にし、事業改善に向け適宜アップデートしていく。



今年度の主なニュースリリース

- 2023年 4月 ナノテクトのサウジアラムコでの採用
- 2023年 5月 プライム市場上場維持基準適合
- 2023年 7月 有機薄膜太陽電池事業への追加投資
- 2023年 8月 人事コンサルティング企業への出資
- 2023年 9月 革新的多機能材料創製 共同事業開始
- 2023年11月 インド・ムンバイに現地法人設立

株主還元

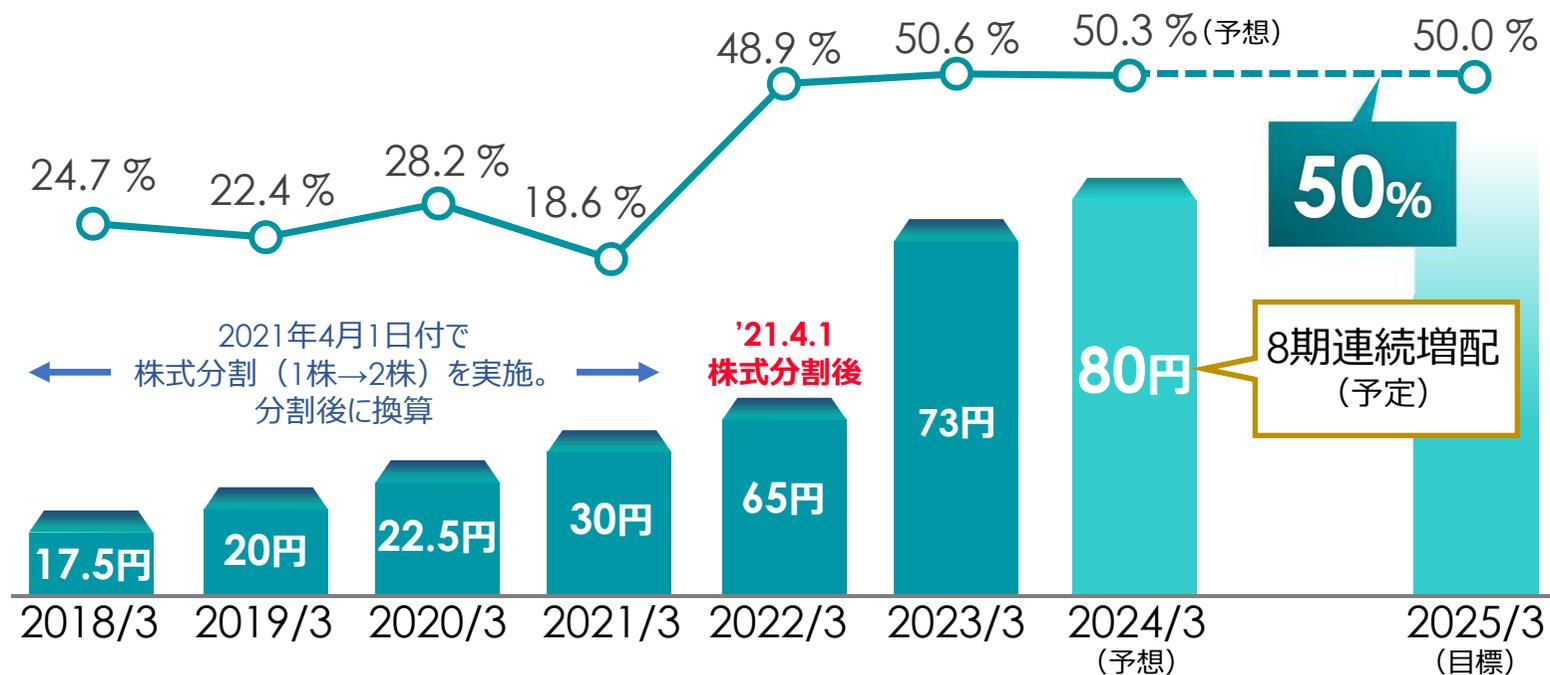


基本方針

安定的かつ継続的な利益還元を実施する

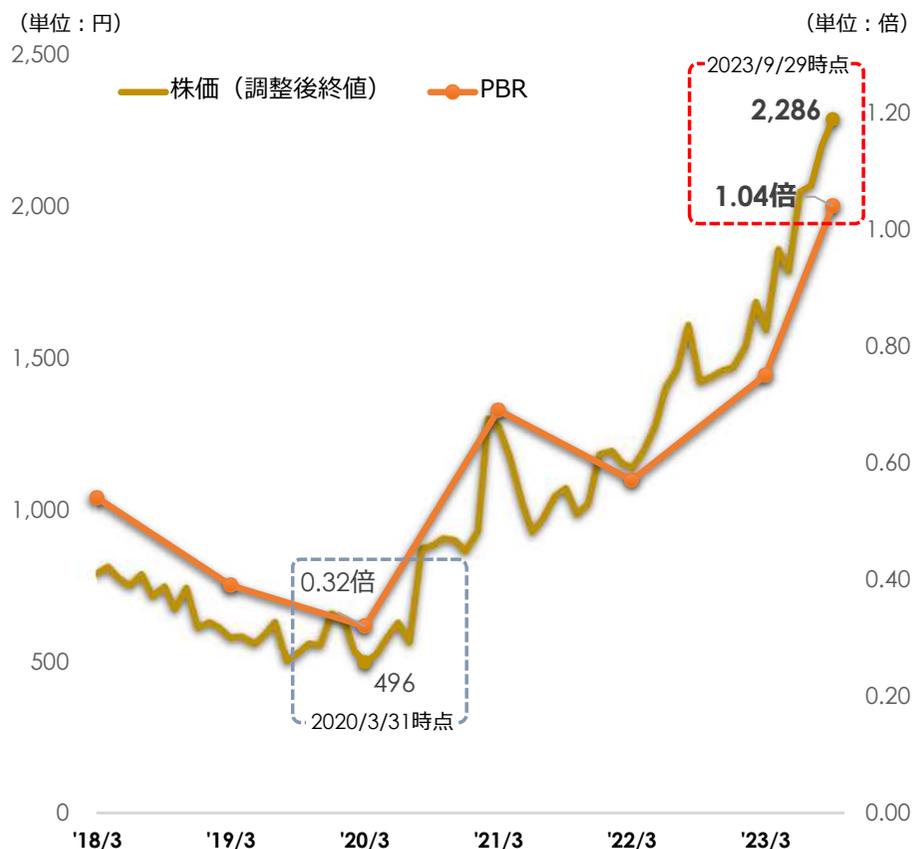
● 配当性向を**50%**とする

● 機動的な自己株式取得

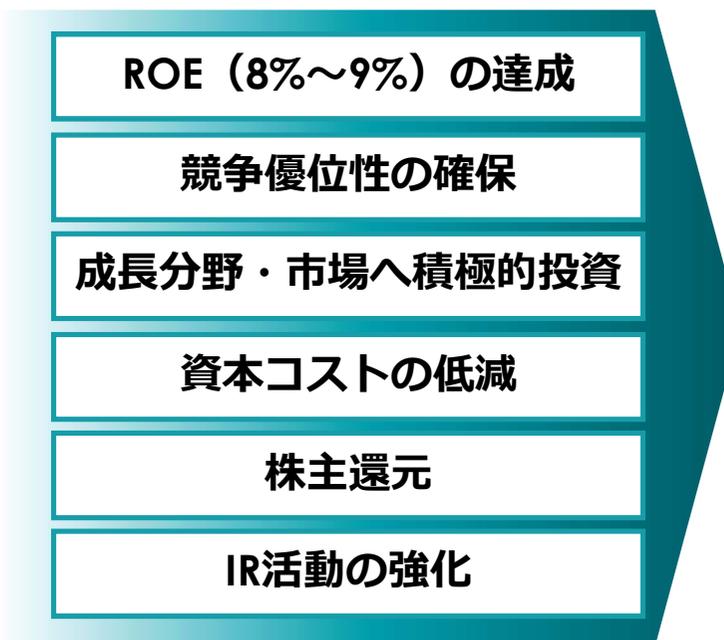


PBRの改善に向けて企業価値を高める

当社PBRと株価の推移（直近5年間）



PBR改善に向けた諸施策



企業価値向上

収益力を高め、
持続的成長により
株価の上昇を実現

$$\text{PBR (株価純資産倍率)} = \text{PER (株価収益率)} \times \text{ROE (自己資本利益率)}$$

経営資源配分の最適化により、成長分野や強化分野への投資を推進する。

事業投資

- ・ インドおよびアセアン地区 新興市場への拠点拡充
- ・ メディカル繊維製品の設備投資、南米メディカルクリニック事業への投資拡大

DX関連投資

- ・ デジタル、IT技術の活用による企業競争力強化のDXプロジェクト推進、働き方の多様性の実現
- ・ 新たな社内基幹システムの導入

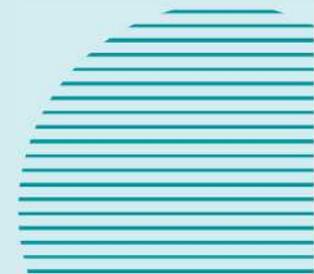
人材・教育関連投資

- ・ 新入社員研修の充実、DX人材の育成、社内教育制度（等級別教育体制やクレオスアカデミーなど）の強化
- ・ 従業員エンゲージメント向上にむけた施策の実施

事業基盤整備投資

- ・ オフィス移転や支店の設備拡充による職場環境の改善と生産性の向上

參考資料



設立

1931年（昭和6年）10月31日

売上高

1,310億円（2023年3月期 連結）

従業員数

610名（2023年3月末 連結）

代表取締役 社長執行役員

吉永 直明

本社所在地

東京都港区芝 3-8-2

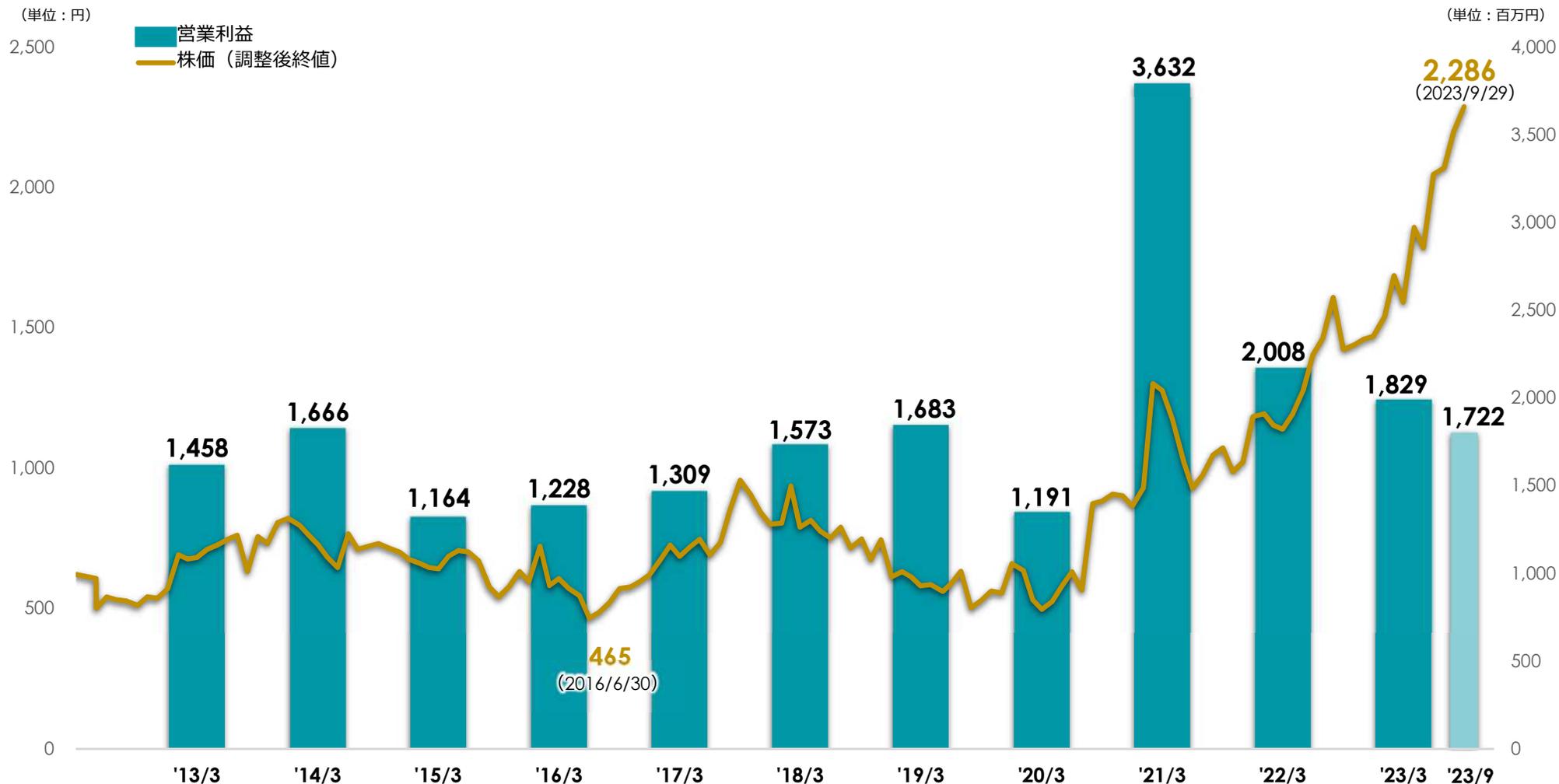
拠点

国内7カ所/海外24カ所

主要取引先

グンゼ株式会社、東レ株式会社、
東洋紡株式会社 他

直近10年間株価と営業利益の推移



グループ会社一覧【国内】

	国内関係会社	事業内容
工業製品	株式会社セントラル科学貿易	理化学機器、医療機器等の販売
	株式会社ジーマーク	花火、家具等の販売
	株式会社オフィス・メイト	不動産の管理および仲介、保険代理店業務
	桜物産株式会社	包装用フィルムや包装資材の加工・販売
繊維	株式会社いずみ	ファンデーションを主とした女性用下着等の企画・製造および販売
	G S I マルロンテックス株式会社	ストッキング・ソックス用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社クレオスアパレル	婦人衣料品および関連商品の企画・製造および小売・卸売販売
	株式会社G S I アブロス	カジュアルブランドやニット製品等の企画・製造および販売
	日神工業株式会社	各種繊維製品の製造・加工および販売
	但馬合織株式会社	ストッキング・タイツ用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社ソフィア	各種繊維製品の製造・加工および販売
株式会社S H A R E	婦人衣料品および関連商品の電子商取引に係る事業、小売及び卸売事業	

グループ会社一覧【海外】

海外関係会社		事業内容
GSI Holding Corporation	アメリカ	北米地域における持株会社
GSI Exim America, Inc.	アメリカ	生地、アパレル、半導体関連商材、化成品、ホビー関連商材等の輸出入
GSI Europe-Import+Export GmbH	ドイツ	化成品、機械、その他工業製品の輸出入
GSI Trading Hong Kong Limited	香港	繊維原料、生地、樹脂・フィルム等の輸出入
科立思管理（上海）有限公司	中国	繊維原料、生地、インナー製品、フィルム、化成品、その他工業製品の輸出入、アウターOEM業務等
郡産貿易（深圳）有限公司	中国	繊維原料・製品、フィルム、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Korea Co., Ltd.	韓国	繊維関連商材、化成品、樹脂、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Brasil Ltda.	ブラジル	化成品、メディカル機器等の輸出入
GSI Creos (Thailand) Co., Ltd.	タイランド	繊維原料、生地、インナー製品、化成品、その他工業製品の輸出入
PT. GSI Creos Indonesia	インドネシア	繊維原料、化成品、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Technology (China) Co., Ltd.	中国	半導体関連商材の中国国内販売
北京吉思愛針織有限公司	中国	ソックス等の製造、販売
GSI Creos India Private Ltd.	インド	化成品、その他工業製品の輸出入

GSI Creos

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。